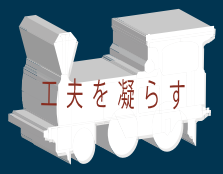
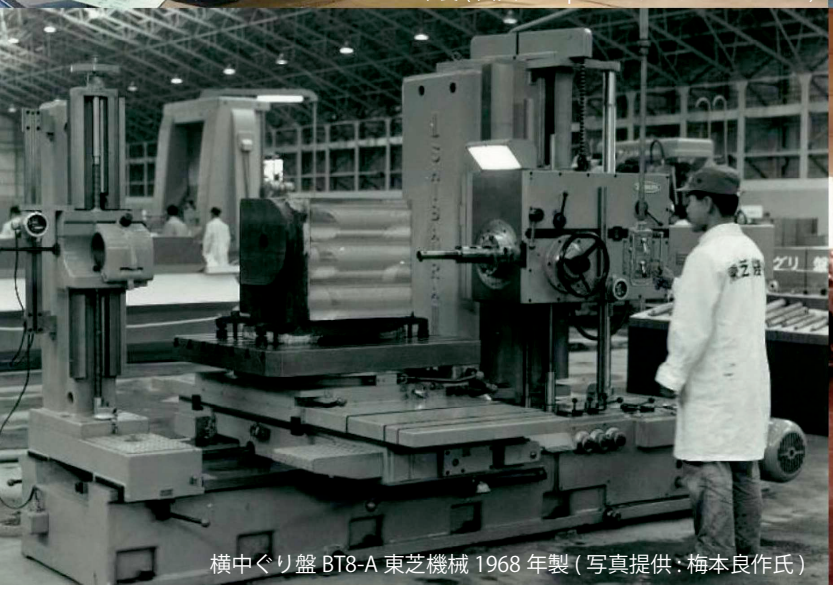


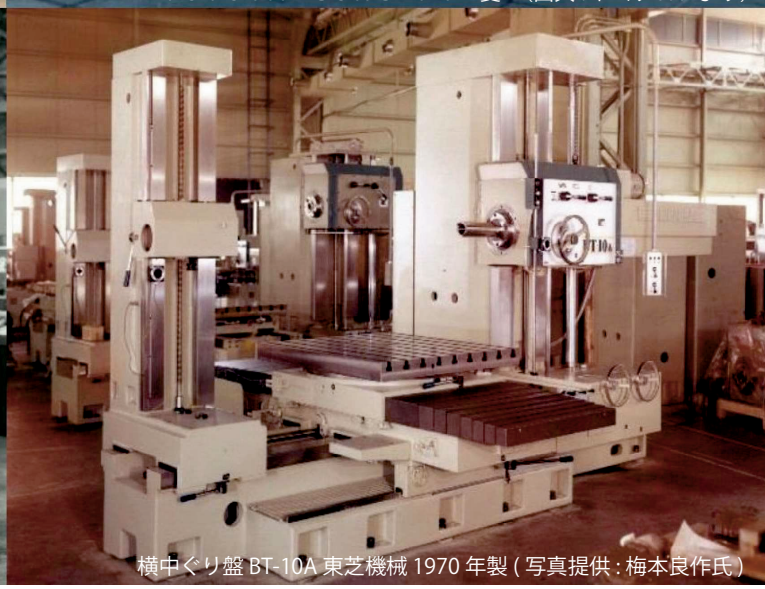
ものづくりとデザイン

－産業の近代化とデザインの歩み－

トヨタ・カローラ 1966 年製（出典 :wikipedia- トヨタ・カローラ）

TOYOTA－CONCEPT－愛 i（出典：トヨタHPより）


横中ぐり盤 BT8-A 東芝機械 1968 年製（写真提供：梅本良作氏）


横中ぐり盤 BT-10A 東芝機械 1970 年製（写真提供：梅本良作氏）

2017 年2月26日（日）午後1時～午後4時45分

主催：中部産業遺産研究会　The Chubu Society For The Industrial Heritage

共催：トヨタ産業技術記念館

会　場　トヨタ産業技術記念館　ホールＡ

〒451-0051 名古屋市西区則武新町４丁目１番３５号

公共交通機関でのご来館は
- 名　鉄：名古屋本線「栄生駅」下車、徒歩３分
- 市バス：名古屋駅 11 番のりば「名古屋駅」行（循環）「トヨタ産業技術記念館」下車、徒歩３分
- なごや観光ルートバス〝メーグル〟：名古屋駅８番のりば「トヨタ産業技術記念館」下車、徒歩０分
- 地下鉄：東山線「亀島駅」下車、２番出口より徒歩１０分
- ＪＲ・近鉄・名鉄「名古屋駅」から徒歩２５分、タクシー利用で５分

お車でのご来館は
- 名古屋高速都心環状線「錦橋出口」あるいは「丸の内出口」から１０分
- 無料駐車場（乗用車２１０台、大型バス１０台）

後援：愛知県教育委員会・名古屋市教育委員会・産業考古学会・日本産業技術史学会・ 一般社団法人 日本機械学会・一般社団法人 中部産業連盟
公益財団法人 中部圏社会経済研究所・ 一般社団法人 中部経済連合会・公益社団法人 日本技術士会中部本部

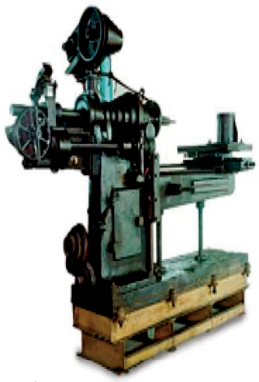
ものづくりとデザイン－産業の近代化とデザインの歩み－

今回は、デザインを切り口として、産業遺産を見て、考える手がかりにしたいと思います。『デザイン』は意匠とも言い、「工夫を凝らすこと」さらに「美術、工芸、工業から生み出す品の形や色などを様々に工夫すること」です。先人が何を思い、考え、どのようにデザインしてきたかを学び、産業遺産の意義をより多面的に感じ取りたいと思います。そして、その産業遺産を将来に生かし、活かせる道を歩みたいと考えています。今シンポジウムにて、工業デザインと言う切り口と、中部地区において発達した近代産業の代表格である自動車や工作機械を例にとって、『デザイン』が果たしてきたことを、参加者のみなさんと考えましょう。

ベンツの自動車発明
出典 :wikipedia- ベンツ・パテント・モトールヴァーゲン

プログラム

12:00	受付開始
13:00	開会
13:05 ～	基調講演「デザイン視点でのモノづくりと社会的価値の変遷」 講師　布垣　直昭（トヨタ博物館館長）
	講　　演「マザーマシンにみるデザインの変遷」 講師　梅本　良作（会員、名城大学 理工学部 技術員）
15:30 ～	質疑応答　会場からの意見交換
16:45	閉会
17:05 ～ 18:45	懇親会（事前申込者のみ）　会場：レストラン「ブリックエイジ」（館内）



横中ぐり盤
イタリア Ditta Morini & Bossi 社製 (19 世紀後半)
出典 :http://machinetool.co.jp/19_10.html

参加費（講演報告資料集の代金を含む）

一般　1，000 円

＊中部産業遺産研究会員 500 円

＊学生で資料を必要としない場合　無料

懇親会　5，000 円（予定）

※参加費はお申し込み後、出来るだけ事前に振込をお願いします。

※振込先

【郵便振替】

口座番号：00880-2-83831

口座名称：シンポジウム「日本の技術史をみる眼」

（個人での振込は申込者の名前でお願いします）

定　員

シンポジウム：最大 99 名（会場の定員）

懇親会：30 名

（定員になり次第締め切らせていただきます）

お問い合わせ

【中部産業遺産研究会ホームページ】

http://csih.sakura.ne.jp/

【シンポジウム開催案内ホームページ】

http://csih.sakura.ne.jp/nitigi.html

【シンポジウム実行委員会事務局　八田 健一郎】

E-mail　kenhatta@hm4.aitai.ne.jp

お申し込み

ホームページ、または郵送でお申し込み下さい。
なお、参加券は発行しません。定員超過などによるお断りがなければ、当日受付までお越しください。

◎ホームページ

下記の「参加申し込みフォーム」からお申し込み下さい。

http://csih.sakura.ne.jp/sympo.html

◎郵送

下記申込書をハガキに貼り付けてお送りください。

〒470-0213　愛知県みよし市打越町九蔵釜 93

加藤 真司　宛

「日本の技術史をみる眼」第３５回申込書
①（フリガナ） 氏　名
② 区　分　一般 ・ 中部産業遺産研究会員 ・ 学生
③ 連絡先 ・電話 ・E-mail
④ 所属（団体名・勤務先など） （学生の場合は学校名、学年を記入してください）
⑤ 懇親会参加　　する　・　しない

＊申込書に記載の個人情報は、当シンポジウムの運営及び緊急の連絡のみに使用します。

＊勤務先等で複数お申し込みの場合は別紙も可、その場合、全員の参加者名をご記入ください。